

第2回美園まちづくりワークショップ まとめ

○第2回美園まちづくりワークショップが開催されました！

美園地区のまちの将来を考える「美園まちづくりワークショップ」(全3回)の第2回ワークショップを7月16日(土)に開催しました。

美園地区のまちづくりの方向性について意見交換を行った第1回ワークショップに引き続き、第2回は、地区全体を4つのエリアに分け、それぞれのエリアの課題について各班に分かれて意見交換を行いました。結果は本紙裏面に掲載しています。

なお、本ワークショップでの検討成果は、「(仮称)みその都市デザイン方針」に反映させていくことを予定しています。

第2回美園まちづくりワークショップ

日時 ■平成28年7月16日(土) 14:00~16:00

会場 ■美園コミュニティセンター 第1・2集会室

テーマ ■美園地区の将来像を実現するための課題について話し合おう。

参加者 ■19名(全4班)

※本ワークショップは、みその都市デザイン協議会が主催し、参加応募した美園地区にお住まいの方々等によって構成しています(事務局:一般社団法人美園タウンマネジメント・さいたま市)



<今後の予定>

■第3回美園まちづくりワークショップ

日時: 8月7日(日) 14:00~16:00

テーマ: 美園地区の課題を解決する取組方法について話し合おう。

■第2回ワークショップでは、まちづくりの取り組み事例を紹介しました。

その中、ワークショップの意見として出された言葉や取組みの一部を事例イメージとしてご紹介します。



○まちづくりルールによる良好な住宅地(さいたま市浦和区)
⇒住民主体によるまちづくりルールをつくることで、良好な住環境を形成



○ゾーン30(さいたま市大宮区)
⇒一定の範囲を対象に面的に速度を規制する



○レリーフ(さいたま市浦和区)
⇒サッカーの街、浦和を印象付け、サッカーによる賑わいを創出する取組み

○デジタルサイネージ(川崎市中原区)
⇒ICT技術を活用し、画面と音声による商店街の情報提供ツール、個店のクーポンなどスマートフォンで取得可能



○統一感のある街並み(横浜市中区)
⇒住民主体で、建物やまちのデザインルールをつくり街並みを形成

第2回美園まちづくりワークショップ まとめ

第1回ワークショップの結果を踏まえ、「7つのまちづくりテーマ」と「4つのまちづくりエリア」が抽出されました。

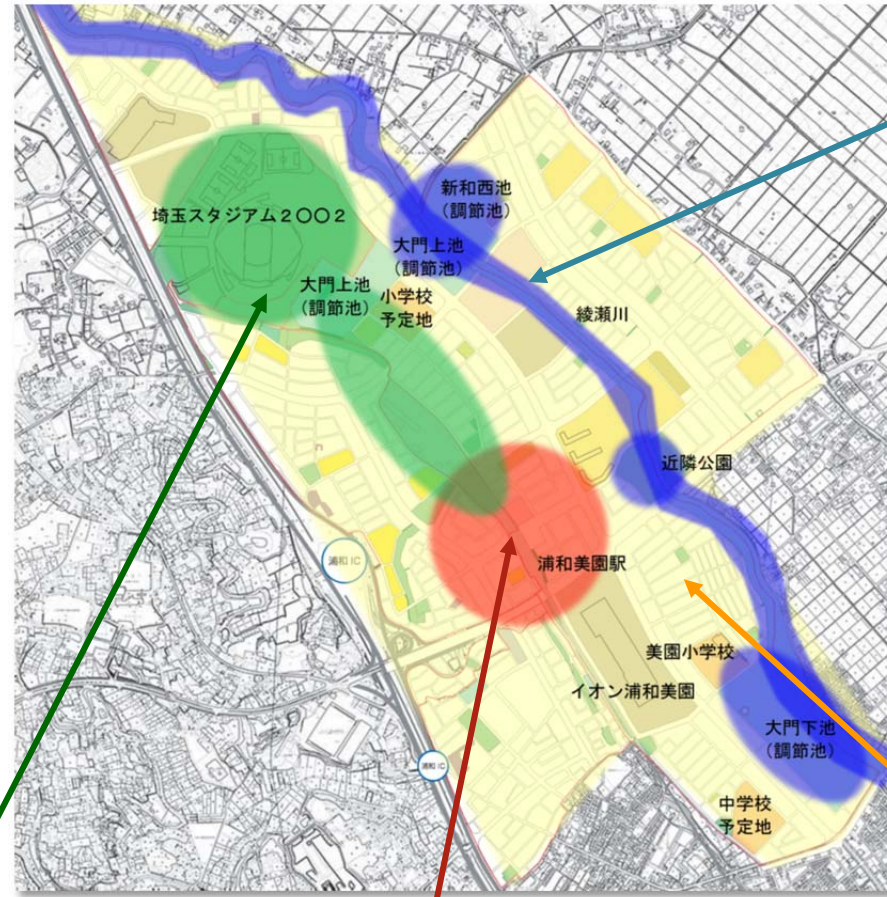
第2回のワークショップでは、それぞれのエリアで各テーマに沿ったまちづくりを進めていく上での課題について「すぐやること」「オリンピックまでにやること」「中長期的にやること」に整理しながら意見交換を行いました。

第3回ワークショップでは、これまでの議論を踏まえ、実現に向けた課題を解決する取り組み方法について意見交換を行い、ワークショップ全体としてのまとめを行っていきます。

まちづくりの目指す方向性（まちづくりテーマ）

- ① 安心安全に歩ける街
- ② 落ち着いた雰囲気の良い街
- ③ 公園・緑が充実した街
- ④ 自然環境・農環境を活かした街
- ⑤ 埼玉スタを中心としたスポーツ・健康の街
- ⑥ 駅を中心とした便利で賑わいのある街
- ⑦ 多世代が交流・循環する街

▼まちづくりエリア



Ⅲ 綾瀬川、調節池、近隣公園

主なまちづくりテーマ ② ③ ④ ⑦

○すぐやること

- ・調節池本来の機能確保(大雨時に十分機能できるように)
- ・調節池の利用してよいエリアを明確にする
- ・調節池内に浸水後も使える遊具や施設を設置
- ・川沿いに花を植え、護岸や堤防道路をきれいに保つ ・綾瀬川に舟を浮かべる場づくり
- ・近隣公園でバーベキュー等が楽しめる場づくり
- ・木陰・日影づくり⇒植える木の種類の検討が必要(虫対策)

○オリンピックまでにやること

- ・埼玉スタまで直接渡れるような大門上池に橋を設置
- ・綾瀬川や舟運の歴史を伝える案内板を設置
- ・調節池の中に歩行者用道路を作る(交通安全対策)

○中長期的にやること

- ・大門下池と綾瀬川を渡ることができる橋の整備
- ・綾瀬川沿いは歩く・走る空間や親水空間の整備、緑のゾーンなど場所ごとに特色があつて楽しめる空間の整備

Ⅳ 住宅地、学校、身近な公園

主なまちづくりテーマ ① ② ③ ⑦

○すぐやること

- ・住宅地の交通安全対策(交差点等交通事故の減少、速度制限、ゾーン 30、車段差設置、一方通行や右左折禁止規制、裏道に車を入れない等) ・通学路の整備(ガードレール・歩道の広さ)
- ・駅からイオンへ行く道など歩きやすく街路樹等で美しい通りの整備
- ・街路灯設置(美園小学校北側周辺、綾瀬川東側周辺など暗いエリア)
- ・喫煙に対する罰則付きの条例の検討 ・ゴミのルールづくり
- ・エリア内の農地を小学校の農園として活用
- ・サッカー開催日の幹線道路、商業施設周辺の土日夕方の渋滞や事故の対策
- ・騒音対策(車(特にインター付近)、暴走族)
- ・住宅地には住宅地に相応しい建物のルールづくり(高さ、業種等)

○オリンピックまでにやること

- ・年代別や用途別に楽しめる、利用しやすい公園を整備
- ・日常生活を送るための施設(小児科医院、学童保育等)

○中長期的にやること

- ・駅西口は落ち着いた住宅地として統一
- ・イオンを起点にしたバスネットワークの形成 ・エリア内を循環するコミバスの運行
- ・駅前や、駅前～埼玉スタ参道等、通りにはテーマを持たせる

I 埼玉スタジアム周辺

主なまちづくりテーマ ① ⑤ ⑥

○すぐやること

- ・サッカーをモチーフとしたまちづくり、道路づくり(モニュメント、プレート、フラッグ、レリーフ等の設置)
- ・サッカー試合日以外はイベント開催して賑わいづくり(店舗や露店等の誘導)
- ・試合日の賑わいと住民の生活が両立するルールづくり
- ・スタジアムへの道の方向性(住宅地か商業地か)
- ・試合後に人をスムーズに誘導するための交通ルールづくり(住民とサポーターの交錯回避)
- ・埼玉スタ～駅までの区間のトイレ整備(一部店舗でもトイレ提供を実施)

○オリンピックまでにやること

- ・大通りもサッカーのボール・車止めを設置
- ・駅から距離があるので、レンタサイクル、セグウェイなどを整備
- ・サッカーだけではなく楽しめる通り(アート等) ・日本をイメージできる通り(和風・マンガをテーマ)

○中長期的にやること

- ・イベント時以外も埼玉スタ経由のバス路線を配置する等利用者サービス充実
- ・駅前～埼玉スタの通りと、幹線道路との交差点をわかりやすくする。
- ・サッカー専用スタジアムだが、多目的利用ができると良い(芝生を傷めないように)

II 浦和美園駅周辺

主なまちづくりテーマ ⑤ ⑥ ⑦

○すぐやること

- ・駅前に商業・飲食店・喫茶店を集める
- ・常設又は屋台等の店舗、マルシェ・オープンカフェの開催
- ・国道 463 号の交差点を渡りやすく、歩きやすくする(信号時間調整)
- ・駐輪場の利便性向上(料金設定の見直し)
- ・駅前もサッカーをテーマに、美園地区の特色を生かした賑わいをつくる

○オリンピックまでにやること

- ・駅周辺に病院を誘導 ・若い人が集えるカフェ誘致
- ・浦和のようにサッカー選手の足跡を設置 ・子どもを乗せられるレンタサイクル
- ・待ち合わせができるスペース(待ち合わせの目印)
- ・外国人増を見越して、英語など外国語の案内を配置

○中長期的にやること

- ・駅の東西間を自由に往き来できるようにする
- ・統一した色・看板(住宅業者が連携) ・駅前の駐車場の利活用(行政・民間の協力)
- ・鉄道延伸時には駅周辺のデザイン・景観に配慮